

## 日本のハラールフードの現状

日本に滞在するイスラム教徒は年々増加し、それに伴い、国内でのハラール認証食品の必要性も高まっています。日本に滞在するイスラム教徒の数は約7万人～12万人とも言われており、これからも益々増えていくことが予想されます。日本に滞在しているイスラム教徒はどのようにして安心な食料品を入手しているのでしょうか。

全国的に、一般のスーパーでは、ほとんどハラール認証食品を販売されていないのが実情です。しかし、一部のスーパー（例：業務スーパー）にはハラール認証食品も販売されていますので、近所にそのようなスーパーがあれば、そこで購入することができます。

近所にそのようなスーパーが無い場合や、手に入らない食品がある場合はインターネットを通じて購入します。

では、岡山県ではどのような状況でしょうか。岡山県に滞在しているイスラム教徒の話によると、ハラール認証食品を売っているスーパーの数が少ないため彼らはインターネット販売によって購入することが多いようです。（例：ラーメンが好きなインドネシア人は *indomie*（インドネシアで有名なインスタントラーメン）に限らず、他の国でハラール認証を取得しているラーメンを購入しています）

ハラール認証を受けたきびだんごもありますが、日常の食料品の入手には、少々不便を感じているようです。



インドネシア人から見ると、日本は宗教に無関心な人が多いのでハラール認証の食料品が少ないのはしかたがないと考えられています。しかし、最近では海外から日本を訪れる観光客が急増していることにより、ハラール食料品（ハラール認証がなくても宗教的に認められた食料品を含む）を用意してくれるホテルを紹介する旅行会社も増えているようで、日本でもイスラム教徒のニーズを無視できない状況になってきています。

ところが日本のホテルやレストランでは、どのような食事を提供すればよいのか判らない方々が大半ではないでしょうか。ここで簡単にハラール食料品について紹介したいと思います。

### 1. 肉製品

基本的に豚肉以外の肉類は食べられます。しかし、牛肉や鶏肉についても、大部分の日本人は *ahli kitab*<sup>1</sup>ではなく、厳密にいうと日本のやり方で屠殺された肉は食べられないのですが、あまりイスラム教の信仰に厳格ではない人は気にしません。海外から輸入したものであれば問題なく食べられます<sup>2</sup>。

<sup>1</sup> *Ahli kitab* とはユダヤ教及びキリスト教の信仰者を意味します。

<sup>2</sup> 例：オーストラリアやアメリカ等から輸入した牛鶏肉のこと。但し、宗派によって違いますのでそれを無視して食べる人もいます。

## 2. 水産物

魚や水産物は問題なく食べられますので、寿司、刺身などは好まれると思います（宗派によっては鯨を禁ずることもあります）。また、揚げものが好きなインドネシア人にとって、日本の天ぷらも口に合うと思いますが、注意しなければならないことがあります。それは使用する油です。豚肉由来製品を含んでいないサラダ油を使用すれば安心です。

## 3. 野菜

野菜は何でも食べられますので日本の美味しい野菜は、きっと気に入られると思います。

## 4. 味噌汁

この日本の伝統的なスープはインドネシア人だけでなく他の外国人にも好かれています。ただし、豚肉や豚肉由来製品が含まれていないことが必要です。

## 5. 飲み物

アルコール以外は飲めます。日本茶は人気だそうです。

以上

### ★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク（PT. JC内）概要★

所在地：Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 29

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,  
Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者：PT. JC 武井 和宏（たけい かずひろ）

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています（岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。